

環境活動レポート

第16号

対象期間: 2023年4月～2024年3月

作成日 2024年5月15日作成

目次

①	組織概要(対象範囲含む)
②	環境経営方針
③	組織図
④	環境経営目標
⑤	環境活動計画
⑥	環境目標の実績
⑦	環境活動計画の取り組み結果とその評価及び、次年度の取り組み内容
⑧	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無
⑨	代表者による全体評価と見直し結果

②環境経営方針

JANOME

環境経営方針

基本理念

ジャノメダイカスト株式会社は地球規模での環境保全活動の必要性を認識し、全社を上げて環境保全活動に取り組むとともに当社の各部門は関係各社とともに連携して地球に優しい企業運営活動を通じて地域、社会に貢献していきます。

環境経営方針

ジャノメダイカスト株式会社はマシン、自動車、各種産業機器のダイカスト部品、石膏鑄造品の生産、販売活動を通じて省資源、省エネルギー、リサイクル化を推進して環境保全活動と環境負荷物質の低減に向けた改善活動を推進します。

1. 環境保全活動及び環境経営活動の推進により、環境改善を実現し地域、社会に貢献致します。
2. ユーザー（顧客）への情報提供、サプライヤー（供給者）との情報交換を行い関係会社とともに環境保全活動を推進します。
3. 資源の有効利用、資源の再利用を図り、環境負荷の少ない機械、設備、資材、消耗品等を優先的に購入、調達します。
4. 環境マネジメントシステムの維持と効率的な運用により環境保全活動を推進いたします。
5. 環境保全に関連する法令、規則、条例、その他の要求事項を遵守するとともに、自然環境の保全を現実的に可能な限り配慮し、汚染の予防に努めます。
6. 環境方針を達成する為に改善目標を設定し活動の推進とその達成度を定期的に監視し、必要に応じてシステムの見直しを行い、継続的改善に努めます。
7. この環境方針を全従業員が行動、実践できるように文書にて周知するとともに関係各社及び協力会社へも文書にて周知し理解と協力を要請いたします。
8. 環境経営への継続的改善を誓約します。

2023年5月1日
代表取締役 社長 芳川敏雄

④環境経営目標

JANOME

当社の環境目標は以下の通りである。

(中期)

	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量	2022年度売上 対比3%減	2022年度売上 対比5%減	2022年度売上 対比7%減
産業廃棄物処理量	2022年度売上 対比3%減	2022年度売上 対比5%減	2022年度売上 対比7%減
水資源投入量	2022年度売上 対比3%減	2022年度売上 対比5%減	2022年度売上 対比7%減
化学物質使用量の管理	2022年度売上 対比3%減	2022年度売上 対比5%減	2022年度売上 対比7%減
グリーン調達	原材料メーカーへの周知100%	同左	同左
エネルギー使用量を削減した製品の売上向上	2022年度自社対比3% エネルギー使用を削減した製品の売上向上	2022年度自社対比5% エネルギー使用を削減した製品の売上向上	2022年度自社対比7% エネルギー使用を削減した製品の売上向上

※次回中期目標見直し時期:2023年度マネジメントレビュー完了後

⑤環境活動計画

以下に2023年度 各項目毎の主な活動計画を記す。

1) 二酸化炭素排出量減

①電気使用量の削減

- ・エアコン有効活用による電気使用量削減
- ・エアー漏れ箇所の把握及び修理

②重油・ガス・ガソリン使用量の削減

- ・集中溶解炉の温度設定
- ・長期休暇に合わせた生産計画立案による集中溶解炉の停止
- ・出張時の車移動削減(電車移動の検討、実施)

2) 産業廃棄物処理量の削減

- ・DX推進による紙ベースの保存削減
- ・切削油の漏れ修理(作業環境改善を含む)
- ・廃プラ、紙ごみのリサイクル化

3) 水資源投入量の削減

- ・金型冷却水の水漏れ削減
- ・各水漏れ箇所の修理

4) その他

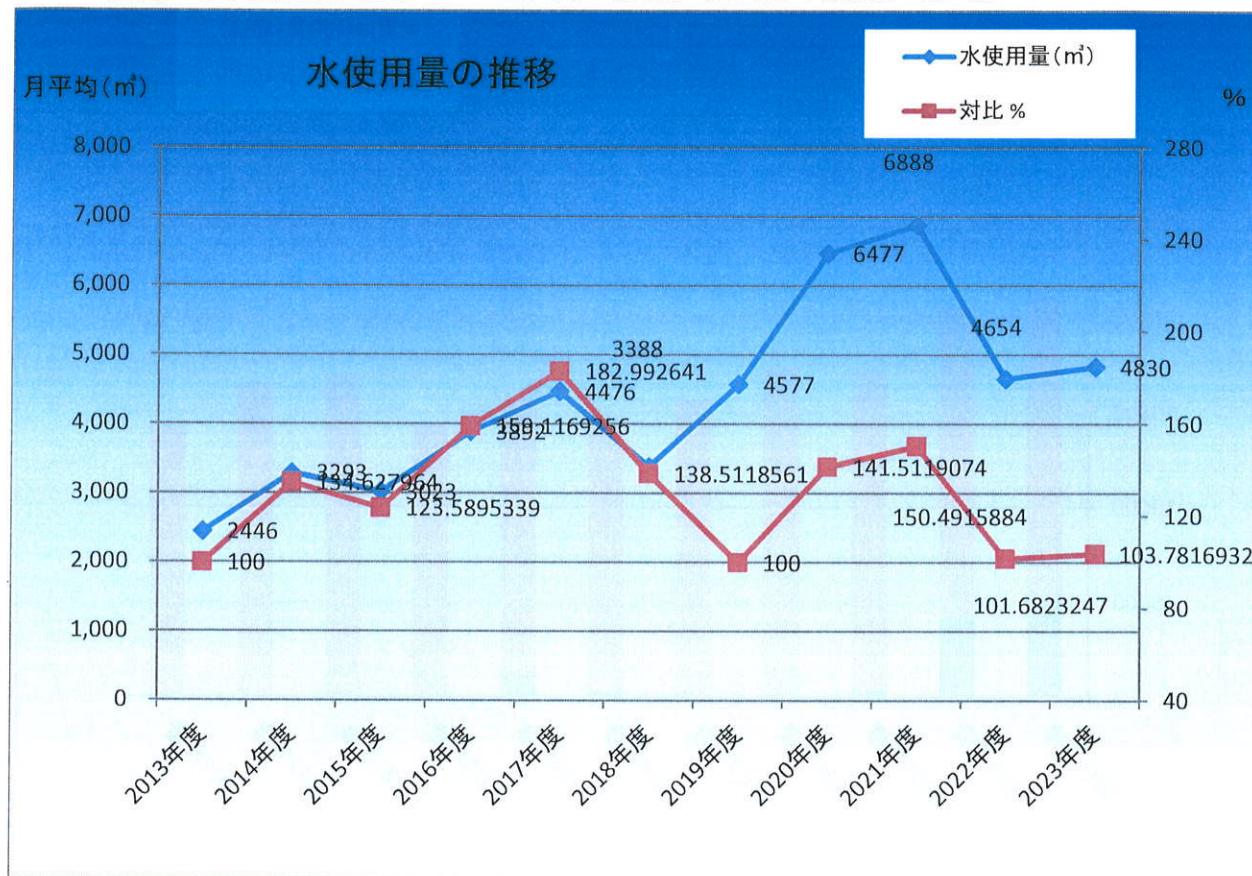
- ・法的必要提出書類の整備
- ・化学物質使用量の管理

◎水資源投入量

目標:19年度相対比 7%減

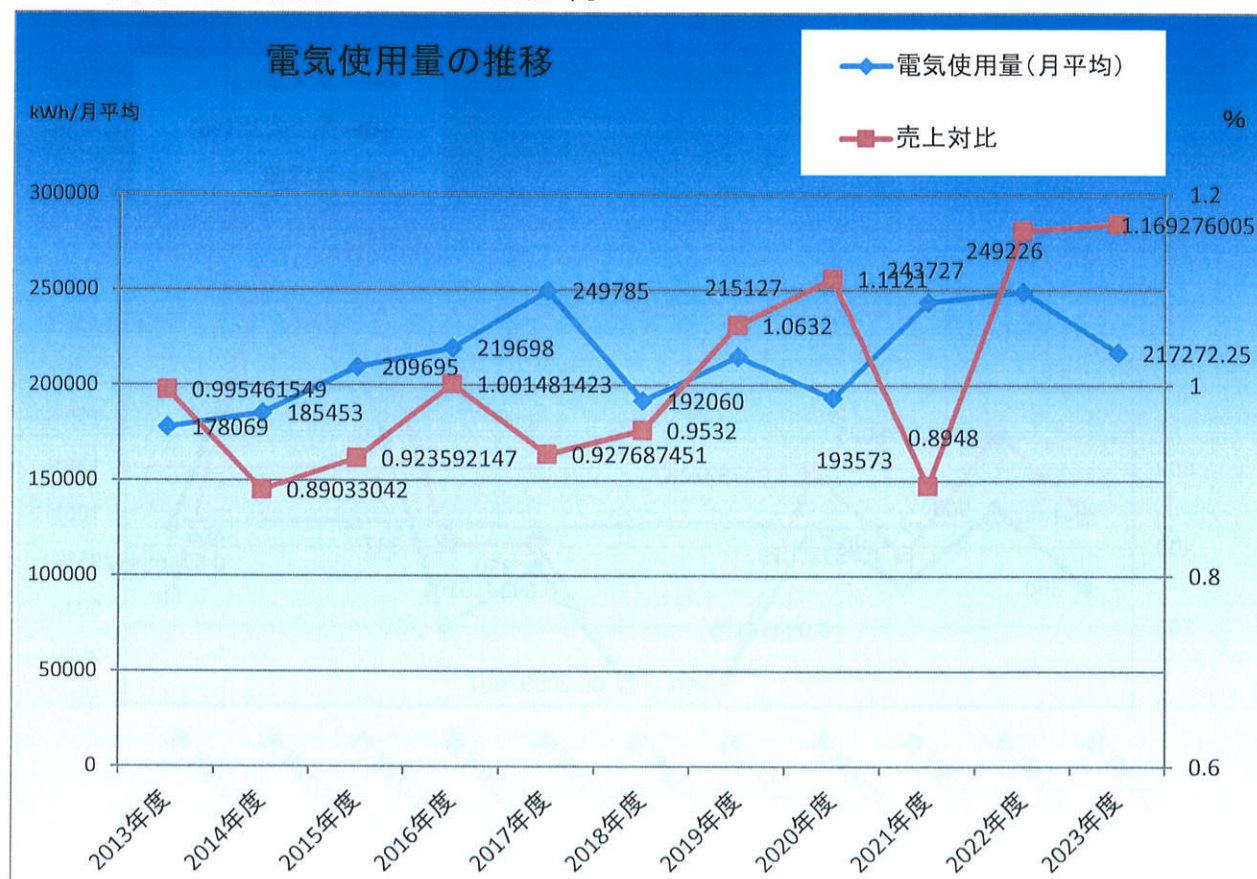
JANOME

2023年度 水資源投入量:4830m³/月 排出 (2022年度比 4%増)



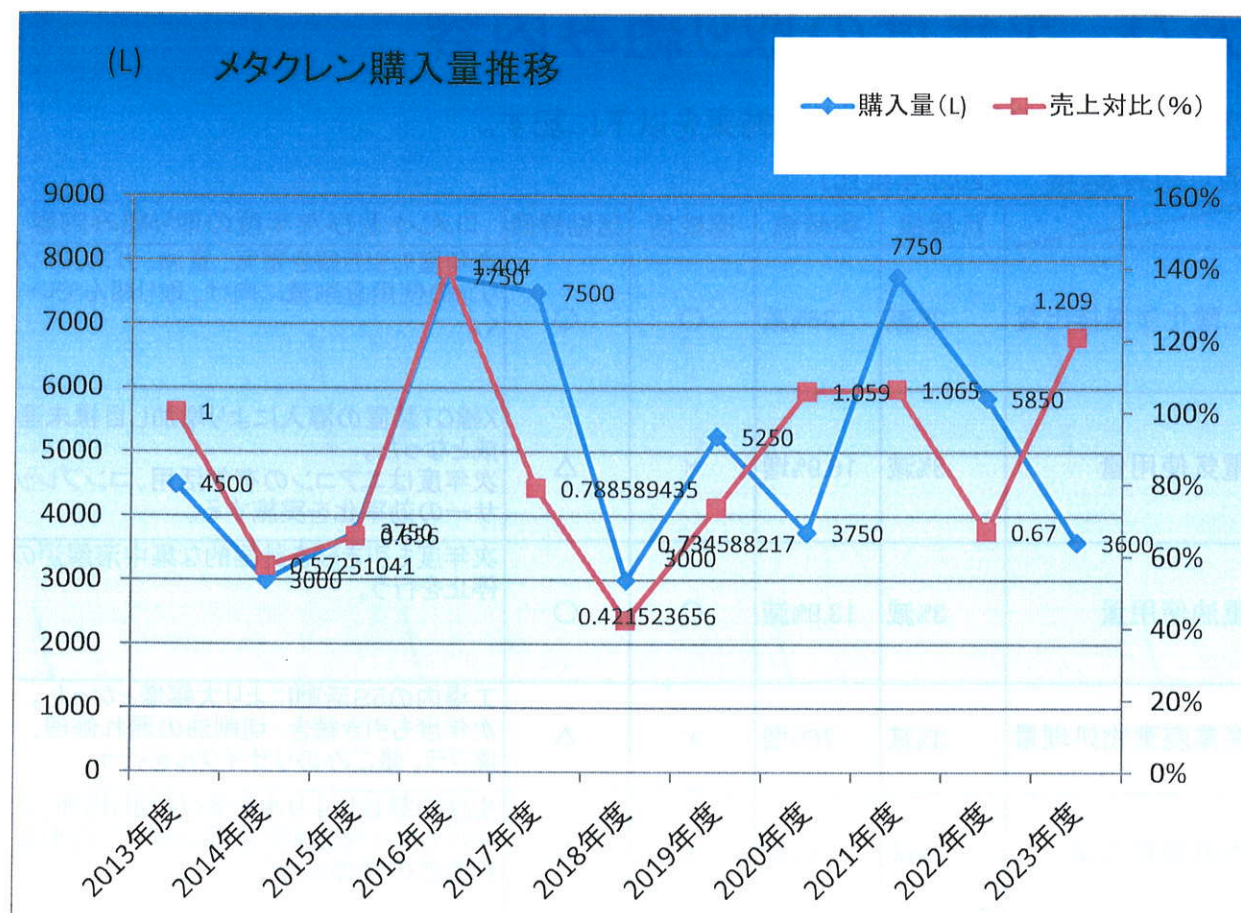
◎二酸化炭素排出量の8割を占める電気、重油使用量の推移

2023年度 電気使用量:217272KW/月



◎化学物質(メタクレン)購入量推移

2022年度 メタクレン購入量:5850ℓ/年



次年度の目標は以下の通りである。

環境経営目標

JANOME

当社の環境目標は以下の通りである。

(中期)

	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量	2022年度売上 対比3%減	2022年度売上 対比5%減	2022年度売上 対比7%減
産業廃棄物処理量	2022年度売上 対比3%減	2022年度売上 対比5%減	2022年度売上 対比7%減
水資源投入量	2022年度売上 対比3%減	2022年度売上 対比5%減	2022年度売上 対比7%減
化学物質使用量の管理	2022年度売上 対比3%減	2022年度売上 対比5%減	2022年度売上 対比7%減
グリーン調達	原材料メーカへ の周知100%	同左	同左
エネルギー使用量を削減した製品の売上向上	2022年度自社対比3% エネルギー使用を削減した製品の売上向上	2022年度自社対比5% エネルギー使用を削減した製品の売上向上	2022年度自社対比7% エネルギー使用を削減した製品の売上向上

※次回中期目標見直し時期:2023年度マネジメントレビュー完了後

環境活動計画

以下に2024年度 各項目毎の主な活動計画を記す。

1) 二酸化炭素排出量減

①電気使用量の削減

- ・エアコン有効活用による電気使用量削減
- ・エアリー漏れ箇所の把握及び修理

②重油・ガス・ガソリン使用量の削減

- ・集中溶解炉の温度設定
- ・長期休暇に合わせた生産計画立案による集中溶解炉の停止
- ・出張時の車移動削減(電車移動の検討、実施)

2) 産業廃棄物処理量の削減

- ・DX推進による紙ベースの保存削減
- ・切削油の漏れ修理(作業環境改善を含む)
- ・廃プラ、紙ごみのリサイクル化

3) 水資源投入量の削減

- ・金型冷却水の水漏れ削減
- ・各水漏れ箇所の修理

4) その他

- ・法的必要提出書類の整備
- ・化学物質使用量の管理

⑨代表者による全体評価と見直し結果

・2023年度の総括として、CO2排出量が2022年度対比36%減となり、目標3%減を達成した。

・X線CT装置の導入により電気使用量が2022年度対比16.9%増となり、目標3%減を達成できなかった。今後もダイカストマシンの移設により電気使用量の増加が予想されるため設備を効率的に稼働させ削減を行う。

・活動を推進するために各部門で業務品質環境会議にて報告をするようにし、停滞させないように今後も全員参加で活動を進めて下さい